

平成 24 年 5 月 22 日

大学等環境安全協議会の皆様
同実務者連絡会の皆様

大学等環境安全協議会実務者連絡会
代表 長崎大学 田平泰広

実務者連絡会研究集会のご案内

昨年度は東日本大震災や台風などで多くの方が被災し、厳しい一年でした。今年度が大きな災害が無い、平和な一年であることを祈念しております。

さて、大学等環境安全協議会実務者連絡会では、下記のとおり研究集会（別紙参照）を計画しましたので、ご案内します。

記

開催日時： 平成 24 年 7 月 26 日（木） 9:00～11:30

開催場所： 九州大学医学部百年講堂 1 F 中ホール

<http://www.med.kyushu-u.ac.jp/100ko-do/>

開催目的： 大学等においても、化学物質管理の適正化を目的として化学物質管理システムが導入されてきました。しかしながら「システム」や「データベース」といった単語は複数の意味に解釈されるものであることから、運用方法や体制、Web プログラムの機能・性能、そして化学物質情報マスターデータベース（以下、試薬マスタ）、といった各個の問題が切り分けされないまま表面的な議論に終始することが多く、各大学等で実効性のある情報交換が成立し難い状況にありました。そこで、今回は特に試薬マスタの維持管理に焦点を当てて議論を行い、問題点やノウハウの整理と共有化を試みます。もって各大学等における化学物質管理の向上に寄与することを目的としています。

発表形式： パネルディスカッション形式

発表者： パネラー

北海道大学	川上 貴教	総論
静岡大学	中山 政勝	各論、質問票集計結果報告
株式会社 PFU	逸見 正行	各論
大阪大学	角井 伸次	各論
茨城大学	塙 浩之	各論
東京大学	林 瑠美子	各論
金沢大学	吉崎 佐知子	各論

コーディネータ

新潟大学 藤井 邦彦

参加費用： 無料

申込方法： 次頁からの参加票兼質問票にご記入のうえ、メールにて平成 24 年 6 月 15 日（金）までに田平（長崎大学）まで申し込みください。（e-mail: tabira@nagasaki-u.ac.jp）

情報提供のお願い： 今回の研究集会の趣旨にご賛同頂ける場合は、研究集会にご参加頂けない場合も可能な範囲で情報提供頂けますようお願い申し上げます。なお、質問票にご回答および送付頂きました機関には後ほど研究集会の資料を送らせて頂きます。

以上

化学物質管理システム運用についての研究集会 参加票兼質問票

大学等環境安全協議会 実務者連絡会

参加者申し込みリスト

所属機関名

--

名 前	部署名	職 名	メールアドレス

申し込み先：長崎大学 田平泰広 宛 (tabira@nagasaki-u.ac.jp)

締 め 切 り：平成 24 年 6 月 15 日（金）

注意事項

1. 次頁以降の質問票と合わせて所属機関ごとに 1 部作成し、メールにて申し込みください。
2. 記入欄等のスペースは適宜ご調整ください。
3. 今回の実務者連絡会研修会は例年とは趣向を変え、討論（パネルディスカッション）方式で行いたいと考えております。会場からも活発な意見や質問をお願いいたします。
4. 本票に記載いただいた情報については、集計後、機関名を表示した形で研究集会当日に発表する予定をしております。
5. 後日、大学等の研究機関名および個人名は匿名としてとりまとめ、会誌（環境と安全）に投稿する可能性がありますのであらかじめご了承ください。
6. 当日は各機関の内々の情報を扱いますので、本研究集会で得た情報を第三者に公開することとはご遠慮くださいますようお願い申し上げます。
7. 質問票のみご協力いただける大学等は、次頁以降をご記入後、上記宛先まで送付ください。
8. 質問票の記入方法等について、ご不明な点がございましたら、新潟大学 藤井 (ku-fujii@ccr.niigata-u.ac.jp) までお問い合わせください。

ご記入される方の所属機関名・氏名をお書きください。

1. 【システム導入状況】 ご所属の大学等で導入している化学物質管理システムに○をつけ、導入時期をご記入ください。複数のシステムが共存している場合は、項目の複製・追加等により各システムの導入状況が判るようにご記入ください。

● 導入している大学等 →回答後、質問 2 にお進みください。

導入時期 [] 年 [] 月頃

- () CRIS (島津エス・ディー株式会社)
- () IASO (東北緑化環境保全株式会社)
- () Chemical Design (株式会社インフォグラム)
- () TULIP (国立大学法人富山大学)
- () 化学物質管理システム (PFU テクノコンサル株式会社)
- () Reagent Manager (ジーエルサイエンス株式会社)
- () その他の専用システム (名称・メーカー名:)
- () Microsoft Excel あるいは Microsoft Access 等の汎用ソフト
- () その他 (スペースを適宜ご調整のうえ、以下に自由にご記入ください)

● 導入していない大学等 →回答後、質問 12 にお進みください。

- () 将来的な導入予定がある
- () いまのところ導入予定はない
- () なんともいえない、わからない

2. 【システムの管理体制】 ご所属の大学等における化学物質管理体制について伺います。化学物質管理システムの管理を担当する技術者はいますか。該当項目に○をつけ、内訳（教員、技術職員、事務職員等の別）をご記入ください（複数回答可）。

- () 専任者 _____ 名 (内訳:)
- () 兼任者 _____ 名 (内訳:)
- () システムの製造元に依頼
- () システムの製造元以外に外注
- () 担当者不在
- () その他 (スペースを適宜ご調整のうえ、以下に例にならってご記入ください)

例：当初は事務職員 3 名体制（兼任）だったが、うち 2 名が退職して現在では事務職員 1 名（兼任）、技術補佐員 1 名（専任）。

3. 【試薬マスタの管理体制】化学物質管理システムの試薬情報（以降「試薬マスタ」と略します）の維持管理を担当する技術者はいますか。該当項目に○をつけ、または人数をご記入ください（複数回答可）。

☐ 2.の「化学物質管理システムの管理を担当する技術者」と同じ。
☐ 専任者_____名（内訳：_____）
☐ 兼任者_____名（内訳：_____）
☐ システムの製造元に依頼
☐ システムの製造元以外に外注
☐ 担当者不在
☐ その他（スペースを適宜ご調整のうえ、以下に自由にご記入ください）

4. 【試薬マスタの初期構築】導入初期の試薬マスタはどのように構築しましたか。該当項目に○をつけ、メーカー数およびカタログデータ登録件数をご記入ください（複数回答可、件数は概数）。

☐ 試薬メーカーから提供されたデータのコンバート（メーカー数____社、_____件）。
☐ 管理者または使用者による情報の手入力（_____件）。
☐ NPO 法人教育研究機関化学物質管理ネットワークの提供する「ACSES 化学物質製品データベース」（_____件）
☐ その他（スペースを適宜ご調整のうえ、以下にご記入ください）

5. 【現在の試薬マスタ】現在の試薬マスタはどのような状態ですか。該当項目に○をつけ、メーカー数およびカタログデータ登録件数をご記入ください（複数回答可、件数は概数）。

☐ 4.の「導入初期の試薬マスタ」と同じ。
☐ 試薬メーカーから提供されたデータのコンバート（メーカー数____社、_____件）。
☐ 管理者または使用者による情報の手入力（_____件）。
☐ NPO 法人教育研究機関化学物質管理ネットワークの提供する「ACSES 化学物質製品データベース」（_____件）
☐ その他（スペースを適宜ご調整のうえ、以下にご記入ください）

6. 【試薬マスタ情報の修正・精査】試薬メーカーが提供する試薬情報は、自社用のデータを無保証で提供しているものであり、便覧や辞書のような高信頼性を期待するものではありません。一般に、試薬マスタはこの情報を基に作成されているため、ある程度の誤りを含みます。これは個別に入力した場合でも同様です。そのような試薬マスタに含まれる情報の修正について、該当項目に○をつけ、または具体的な方法等をご記入ください。

☐ 対応していない。
☐ システムの仕様上対応できない。

() 対応している（スペースを適宜ご調整のうえ、以下に発見・修正方法をご記入ください）。

7. 【法改正の試薬マスタへの反映】 化管法、毒劇物取締法など化学物質に関する法改正が頻繁に行われていますが、法改正があれば試薬マスタの法令情報も古くなります。どのシステムでも自動では対応されないため必ず定期的な修正が必要になります。これに関する対応について該当項目に○をつけ、または具体的な方法等をご記入ください。

() 対応していない。

() システムの仕様上対応できない。

() 対応している（スペースを適宜ご調整のうえ、以下に修正方法をご記入ください）。

8. 【製品情報更新の試薬マスタへの反映】 試薬メーカーが提供するカタログデータは定期的に更新されます。この更新を反映するための試薬マスタの更新を行っていますか。該当項目に○をつけ、または具体的な方法等をご記入ください。

() 対応していない。

() システムの仕様上対応できない。

() 対応している（スペースを適宜ご調整のうえ、以下に頻度および方法ご記入ください）。

9. 【試薬マスタにない試薬】 化学物質管理システムのデータベースに載っていない試薬が存在する場合、個別に試薬マスタを追加する必要があります。この個別追加についての対応について該当項目に○をつけてください。

() 対応していない（質問 11 にお進みください）。

() システムの仕様上対応できない（質問 11 にお進みください）。

() 対応している（次間にご回答ください）。

10. 【試薬マスタへの個別追加方法】 試薬マスタの個別追加について、そのルールと手順、確認方法についてご回答ください。

● 個別追加のルールについて（該当項目に○をつけてください）。

() 研究者が自ら追加している。

() 管理者が追加している。

() 研究者が申請し、管理者が承認（必要に応じて修正）して追加している。

() 外注により追加している。

() その他（スペースを適宜ご調整のうえ、以下にご記入ください）

● 追加内容の確認方法

- () 確認していない。
- () 追加時のみ管理者が確認している。→作業者数 名
- () 一定の間隔を置いて研究者（入力者）が確認している。
- () 一定の間隔を置いて管理者が確認している。→作業者数 名
- () その他（スペースを適宜ご調整のうえ、以下にご記入ください）

11. 【試薬マスタに関する自由記入】 試薬マスタの維持管理について、特色のある取り組みや問題点あるいは困っていることがありましたら、スペースを適宜ご調整のうえ、以下にご記入ください。

12. 【化学物質管理システムに関する自由記入】 その他化学物質管理システムについて、特色のある取り組みや問題点あるいは困っていること、または導入済みの大学等に対する質問などがございましたら、スペースを適宜ご調整のうえ、以下に自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。